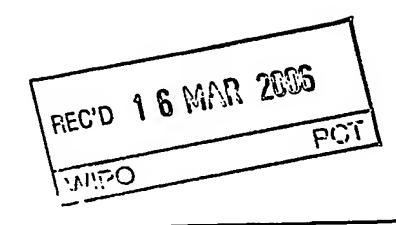
## 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]



出願人又は代理人 の書類記号 PCT04P002	今後の手続きについては、お	就PCT/IPEA/416	を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2004/014389	国際出願日 (日. 月. 年) 30.09.		0.09.2003
国際特許分類(IPC) Int.Cl. A61F13/ (2006.0)	15 (2006.01), A61F13/53 1), A61F5/44 (2006.01),	(2006.01), <i>A61F13/472</i> (20 <i>A61F13/00</i> (2006.01)	)06.01), <i>A61F13/539</i>
出願人 (氏名又は名称) 大王製紙株式会社			
<ol> <li>この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条)。</li> <li>この国際予備審査報告は、この表紙</li> </ol>	の規定に従い送付する。	された国際予備審査報告である	, )
3. この報告には次の附属物件も添付さ a.	れている。 ページである。  基礎とされた及び/又はこの国	国際予備審査機関が認めた訂正	を含む明細魯、請求の範
囲及び/又は図面の用紙 第 I 欄 4. 及び補充欄に 国際予備審査機関が認定	(PCT規則 70.16 及び実施料 よしたように、出願時における した差替え用紙	5国際出願の開示の範囲を超え	
b. □ 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示す (実施細則第802号参照)	<b>トように、電子形式による配</b> る	(電子娘	某体の種類、数を示す)。 -ブルを含む。
第IV欄 発明の単一 第V欄 PCT35条	を報告の基礎 法性又は産業上の利用可能性に 生の欠如 (2) に規定する新規性、進歩性 文献及び説明 用文献 不備	こついての国際予備審査報告の社工のは産業上の利用可能性につい	
国際予備審査の請求費を受理した日 28.07.2005	国贸	予備審査報告を作成した日 07.03.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/) 郵便番号100-891	P) 5	F庁審査官(権限のある職員) 植前 津子	3B 375
中央地工作の区域が限って日本会域工作	GF-R	番号 03-3581-11	01 内線 3320

機式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

東京都千代田区低が関三丁目4番3号

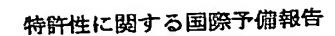


## 特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/014389

	出願時の言語による	る国際出願	ったス	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
,		次の目的のための目語 スのはほり2、2~2.52.752	である R 1(b))	
	国際調査(PC 国際公開(PC	CT規則12.3(a)及び2: CT規則12.4(a))	). I (U//	
Γ.	国際予備審査	(PCT規則55.2(a))		
- • •	m 生は下記の出版 fi	は おお は な と し た 。 (	(法第6条(PC	T14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され 告に添付していない。)
この報	替え用紙は、この等	吸告において「出願時	」とし、この報	告に添付していない。)
	出願時の国際出願			
Y	山殿時少四家山路			
	明細鸖			
	第		ページ、出願時	寺に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第		ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第		ページ*、	
	請求の範囲		-E 1116F	時に提出されたもの
	第		垻、 山殿 <sup>、</sup> 項*. P.C.	<b>エュュタの担定に基づき補正されたもの</b>
	第 第		項*、	こうしょうさん はんしゅう はんしゅん はんしゅん はんしん はんしん しょうしょく しょうしょく しょうしょ しゅうしょ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう
	第		項*、	
<u></u>	図面			
\$ <sub>prop</sub>	第			質時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	exts.	~~-	-ジ/図 *、	
	第		22 /DVI 4	サナス国際予備案本機関が受理したもの
	第 第	~-	-ジ/図 *、	ムナス国際予備案本機関が受理したもの
П	第 型別表又は関連	するテープル		ムナス国際予備案本機関が受理したもの
	第 型別表又は関連			ムナス国際予備案本機関が受理したもの
	第 配列表又は関連 配列表に関	ーーーー するテーブル する補充欄を参照する	こと。	ムナス国際予備案本機関が受理したもの
□ 3. □	第 配列表又は関連 配列表に関	するテープル	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
□ 3. □	第 配列表又は関連 配列表に関 補正により、下 即細審	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの 
3.	第 配列表又は関連 配列表に関 補正により、下 明細書 間求の範囲	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第  第	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
3.	第 配列表又は関連 配列表に関 補正により、下 明細書 開求の範囲 図面	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第 第 第 第	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの 
3.	第 配列表又は関連 配列表に関 補正により、下 開郷の範囲 図面 の可表(具	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第  第  第  (本的に記載すること)	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
· Conserved	第一配列表又は関連配列表に関連を記述しまり、下により、下間の開始を記述しまり、下間の関係を認定を認定を表する。	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第 第 第 体的に記載すること) 連するテーブル(具体	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
· Conserved	第一配列表又は関連配列表に関連を記り、下により、下間の開連を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開から、これを表に関する。	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第 第 第 体的に記載すること) 連するテーブル(具体	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第一配列表又は関連配列表に関連を記り、下により、下間の開連を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開から、これを表に関する。	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第 第 第 体的に記載すること) 連するテーブル(具体	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
· Conserved	第一型の表では関連を表である。 「本のでは、一型では、一型では、一型では、一型では、一型では、一型では、一型では、一型	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第 第 第 体的に記載すること) 連するテーブル(具体 また関に示したように、 のと認められるので、	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第一規則を対して、一般のでは、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第一第一 第一第一 第一年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二	こと。	付けで国際予備審査機関が受理したもの   ページ 項   ページ/図
	第一表別表記 は 明け の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第第二とれる 第第中プル (具体 主を関められるので、 第第第したようで、 第一次にあるので、 第第第第一次によって、 第第第一次によって、 第二十分によって、	さい。	付けで国際予備審査機関が受理したもの   ページ 項
	第一段の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	するテーブル する補充 棚を参照する 記の 書類 が削除 された 第 第 3 ない はい まで、 また はい また また また また はい また はい また また また はい また また はい また また また はい また	こと。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	付けで国際予備審査機関が受理したもの   ページ 項 ページ/図   付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を
	第一段の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	するテーブル する補充欄を参照する 記の書類が削除された 第第二とれる 第第中プル (具体 主を関められるので、 第第第したようで、 第一次にあるので、 第第第第一次によって、 第第第一次によって、 第二十分によって、	こと。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	付けで国際予備審査機関が受理したもの   ページ 項 ページ/図   付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を
	第一段の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	するテーブル する補充 棚を参照する 記の 書類 が削除 された 第 第 3 ない はい まで、 また はい また また また また はい また はい また また また はい また また はい また また また はい また	こと。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	付けで国際予備審査機関が受理したもの   ページ 項 ページ/図   付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を

様式PCT/IPEA/409 (第I欄) (2005年4月)



国際出願番号 PCT/JP2004/014389

第V梱 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを駆付ける文献及び説明 見解 1. 2, 4, 5 請求の範囲 \_\_\_\_\_\_ 新規性(N) 請求の範囲 \_\_\_\_\_ 有 請求の範囲\_\_\_\_\_\_ 進歩性(IS) 1, 3, 4, 5 請求の範囲 \_\_\_\_\_\_ 1-5 請求の範囲 産業上の利用可能性(IA) 請求の範囲

## 2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1:JP11-358A (花王株式会社) 1999. 01. 06

文献2: JP2003-230593A (大王製紙株式会社) 2003.08.19

請求の範囲1に記載された発明は、上記文献1より新規性を有しない。請求の範囲1に記載された防漏溝は文献1 (請求項7,第5図,第6図等参照)に開示されている。

請求の範囲3に記載された発明は、上記文献1より新規性を有しない。請求の範囲1に記載された防漏構の外側に前記中高部をプレスによって薄化した薄化部は文献1 (請求項5,第5図等参照)に開示されている。

請求の範囲4に記載された発明は、上記文献1および文献2より進歩性を有しない。文献2(【0051】, 第3図等参照)には前後方向中間が中高に形成された生理用ナプキンが開示されており、吸水性物品を3つ折りし個装することは周知であることから、当業者であれば請求の範囲4に記載された発明は容易に想到する。

請求の範囲5に記載された発明は、上記文献1より進歩性を有しない。吸収体の厚みは、吸収性物品の用途、サイズ等 種々の条件に応じて当業者が適宜決定すべき事項である。

様式PCT/IPEA/409 (第V概) (2005年4月)

JEST AVAILABLE COPY